

講義名	中国語 A		
科目区分	グローバル		
担当教員	小笠原 恵子		
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	15001

主題と概要

この授業は初心者を対象としています。授業で中国語の基礎を身に付け、次のステップへ進む能力が備わるようにしっかり勉強していきます。一人で勉強するのではなく、皆で楽しく勉強して皆で中国語が出来るようになります。

教科書は「演じる中国語入門」です。教室にいながら、幼稚園の先生と園児になったり、観光客になったり、店の店員になったりして、それぞれの場面でうまくコミュニケーションを取れるようになるう、という気持ちになってもらえたらと思います。積極的に演じてみると、きっと、教科書の内容が身に付きやすいと思うでしょう。みなで楽しく、実り多い授業を作っていきます。

到達目標

授業では、単語も文型練習もすべて発音重視で練習し覚え込む事を要求します。

15回の授業で発音、文法、漢字の書き方、ヒアリング、そして、簡単な中国語が聞けて話せる事を到達目標とします。

提出課題

ほぼ毎回の授業で授業外学習の課題を出します。課題の提出は、指定日の授業の開始時に限ります。

評価の基準

毎回出席を取ります。3回遅刻で一回の欠席に換算します。5回欠席で放棄とします。

提出課題30点
第1回到達度測定テスト30点
第2回到達度測定テスト40点

しかし、授業態度が悪かったら、成績が悪くなる事もあります。

履修にあたっての注意・助言他

毎回出席を取ります。5回欠席で放棄とします。3回遅刻で一回の欠席に換算します。

欠席するのと、授業中で寝たり、携帯でラインをやったりするので、勉強に遅れてしまいがちで、成績も悪くなります。

教科書

.演じる入門中国語.	余瀾 中桐典子	朝日出版社	2484円	978-4-255-

プリント資料及び参考文献

授業計画

第1回授業	中国語発音の基礎
第2回授業	前の授業の復習と第1課
第3回授業	復習と第2課
第4回授業	復習と第3課
第5回授業	復習と第4課
第6回授業	復習と第5課
第7回授業	復習と第6課
第8回授業	第1回到達度測定テストと第7課
第9回授業	復習と第8課
第10回授業	復習と第9課
第11回授業	復習と第10課
第12回授業	復習と第11課
第13回授業	復習と第12課
第14回授業	復習と第13課
第15回授業	第2回到達度測定テスト

予習・復習

授業外課題で予習と復習をしてください。授業中でも復習します。

備考
